

第1回

循環を感じる コンポスト

講座

生ごみが、土になり、やがて未来を育てる。
小さな循環を、暮らしの中に。

生ごみを
コンポストへ

微生物の力で
分解・発酵

土が育ち、
野菜や植物が
元気に育つ

ミミズコンポストも
紹介します！

ぐるっとめぐる、
やさしい循環。

栄養たっぷりの
たい肥に

講師

熊野の森もろおかスタイル

協力：グリーン＆クリーン大倉山



7.26(日)



10:00～11:30



港北公会堂 1号会議室

定員：20名 締切：7月20日(月)

お問合せ

TEL :045-540-2246

(港北区区民活動支援センター)

mail: ko-center@city.yokohama.lg.jp



申し込みは
こちらから

ガーデンベア © ITOON/GN





2026年7月27日(月) - 31日(金)

午前 10:00 ~ 午後 5:00 (27日は午後1時から、最終日は午後3時まで)

ギャラリーかれん 〒222-0037 横浜市港北区大倉山 1-11-4

八王子から町田、川崎、横浜、横須賀、三浦にいたる多摩・三浦丘陵の上に緑のイルカの形が浮き出てくる！1995年、これは「いるか丘陵だ。」と発見したのは岸由二氏。高尾山の東から三浦半島の先端、城ヶ島まで続く「いるか丘陵」は、かつて「塩の道」「絹の道」「鎌倉街道」など共通の道と文化で結ばれていました。

2027年花の博覧会も控え、その丘陵群を、忘れられかけていた地元の野草である花カンゾウ（ヤブカンゾウ、ノカンゾウ、ハマカンゾウ）の花の文化でつないでゆきます。いるか丘陵は大小の河川流域の連なりでもあります。花の輪を広げてゆくのは、鶴見川流域や小網代の森（浦の川流域）で活躍する市民たち。

あしもとの自然の魅力を楽しみに変えて、お披露目していきます。

岸由二氏：慶應義塾大学名誉教授。進化生態学を専攻。流域思考の提唱者

いるか丘陵の花カンゾウとは？

ワークショップ、トークショー、陶芸品・グッズ、花カンゾウ食の体験などをご紹介します。

主催：NPO 法人小網代野外活動調整会議、NPO 法人鶴見川流域ネットワーク

共催：熊野の森もろおかスタイル、OE！yokohama、連携鶴見川流域ネットワーク

協力：小網代陶房、雑貨カフェ式部、竹芳洞、小木久美子

問い合わせ：NPO 法人小網代野外活動調整会議 045-540-8320（事務局亀田）